

愛知のてっぺんで、 星空を見上げよう

愛知県豊根村では、村内のどこからでも、星をきれいに望むことができます。また月に1度、休暇村茶臼山高原にて星空観察会を実施しています。

宿泊情報につきましては、豊根村観光協会までお問い合わせください。

星のソムリエと楽しむ 春の星空観察会【予約不要】

休暇村茶臼山高原

☎ 0536-87-2334

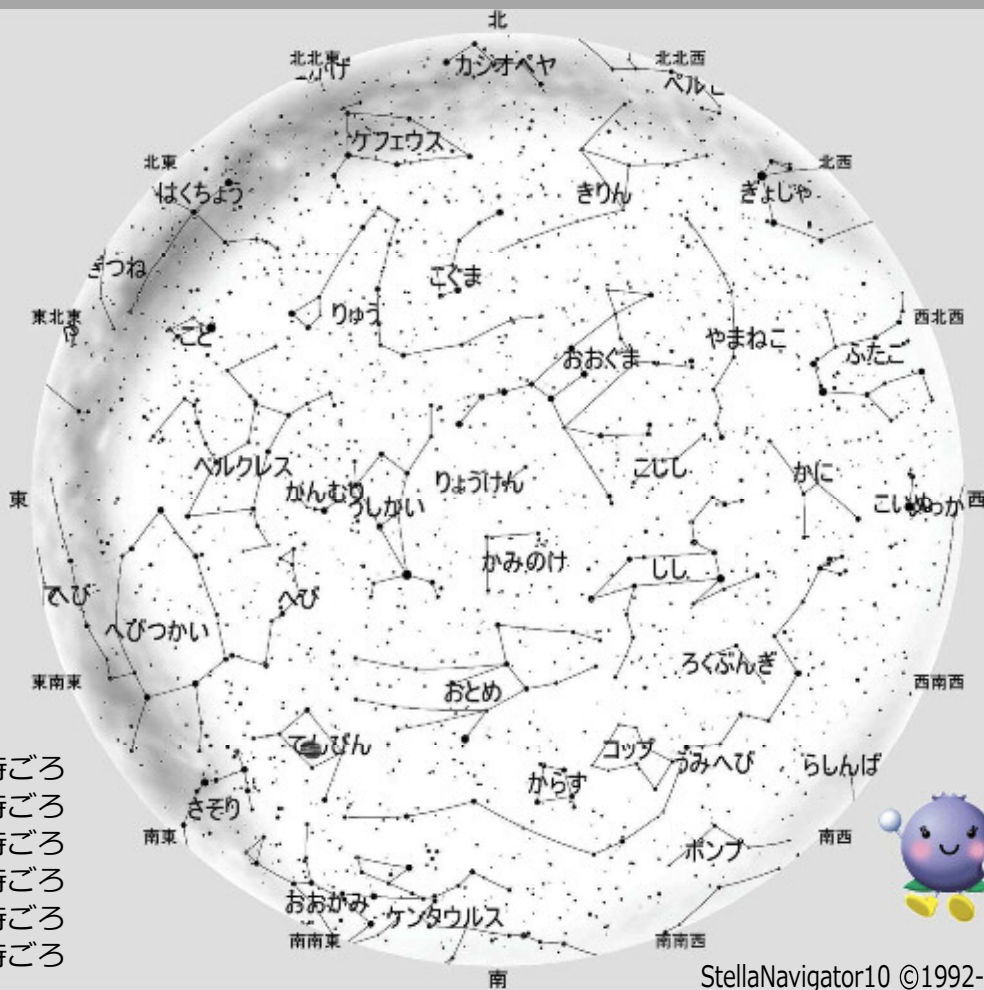
4月21日（土）19：45頃～

5月 5日（土）19：45頃～

6月16日（土）19：45頃～

※その日の都合により、
開始時間が前後することがあります。

【問い合わせ】 豊根村観光協会 ☎ 0536-87-2525



4月 5日 24時ごろ
4月 20日 23時ごろ
5月 5日 22時ごろ
5月 20日 21時ごろ
6月 5日 20時ごろ
6月 20日 19時ごろ



StellaNavigator10 ©1992-2018 Astro Arts Inc.

4～6月の星空

星空はすっかり春の装い。春の星座で有名なしし座、おとめ座、うしかい座、おおぐま座が空高く輝いています。おおぐま座のしっぽにあるアステリズム（星のまとまり）は北斗七星と呼ばれ有名です。その北斗七星から北極星を探したり、春の一等星、うしかい座のアルクトゥールスやおとめ座のスピカを見つけたりしてみましょう。その2つの星としし座のしっぽにあるデネボラをつなぐとできるのは春の大三角です。春の大三角の真ん中あたりを双眼鏡で覗いてみると、星が集まったようすが観察できます。かみのけ座を形作る星団 Mel111 の30個ほどの星が見つかります。しし座の頭の先にはかに座があり、かにの甲羅の部分には M44 プレセペ星団がぼんやり見えます。これも双眼鏡で見ると星の集団であることがわかります。

そして5月には木星が、6月には土星が、7月には火星が衝を迎えます。見応えのある惑星たちが、どんどん見やすい時刻に東の空からの昇ってくるようになります。この春から夏にかけて楽しみな天文現象のひとつです。

おもな天文現象

「天文年鑑 2018」より抜粋

4月	5日	清明（太陽の黄経が15°になる）
	8日	下弦
	16日	新月
	20日	穀雨（太陽の黄経が30°になる）
	23日	上弦
	30日	満月、水星が西方最大離角
5月	2日	八十八夜
	5日	立夏（太陽の黄経が45°になる）
	8日	下弦
	9日	木星が衝
	15日	新月
	21日	小満（太陽の黄経が60°になる）
	22日	上弦
	29日	満月
6月	6日	芒種（太陽の黄経が75°になる）
	7日	下弦
	11日	入梅（太陽の黄経が80°になる）
	14日	新月
	20日	上弦
	21日	夏至（太陽の黄経が90°になる）
	27日	土星が衝
	28日	満月

火星大接近に備えよ！

この4月から6月・7月にかけては、次々と惑星たちが衝を迎え、見ごろの時期となります。特に今年は、15年ぶりに火星が地球から約5,759万kmまで大接近します。次々と見やすくなる惑星を観察しながら、火星の大接近に向けて準備を進めていきましょう。特に、この天文現象はその日に限ったものではないので、継続的な観察で、じっくりと味わいたいです。